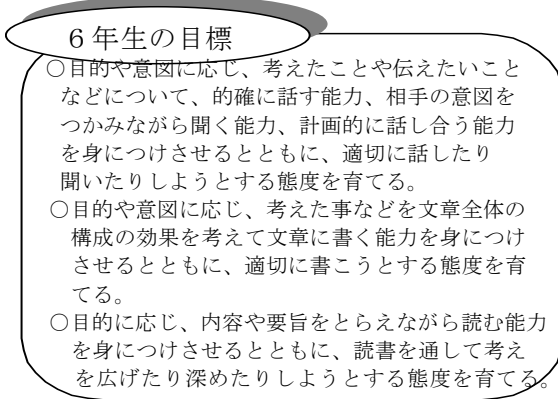
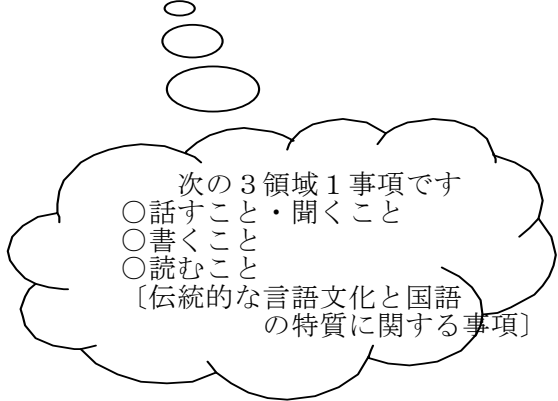
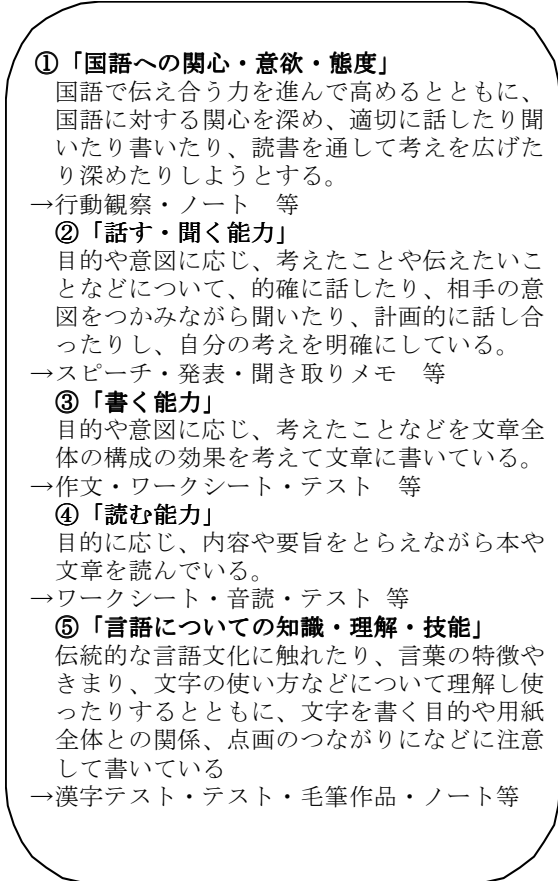


小学校 第6学年「国語科」シラバス

国語の領域構成



★評価の観点



	学習する単元の名称	主な学習内容
前 期	1 想像を豊かにして「語り」をしよう ・風切るつばさ ・図書館へ行こう ☆表現をくふうして書こう ☆熟語の構成を考えよう	・物語を読んで感じたことや考えたことが表れるように、「語り」をします。 ・日本十進分類法や請求記号を知り、図書館利用の仕方を確かめます。 ・いろいろな表現の工夫を知り、表現の効果を考慮して書きます。 ・三字以上の熟語の構成を理解します。
	2 自分の考えを明確にしながらか読もう ・イースター島にはなぜ森林がないのか ☆学校の良さを宣伝しよう ☆動詞にそえて使う言葉に目を向けよう	・筆者の主張を読み取って、それに対する自分の考えを持ちます。 ・根拠や理由を明確にして、聞き手の印象に残るように工夫して話します。 ・いろいろな補助動詞があることを知り、それぞれの働きや意味を理解します。 ・物語が自分に最も強く語りかけてきたことを、自分の言葉でまとめます。
	3 物語が強く語りかけてきたことを考えながら読もう ・ばらの谷 ☆意見を聞き分けよう ☆日本の文字に関心を持とう	・複数の意見の似ているところや違うところを聞き分けます。 ・平仮名と片仮名の由来と特色を理解し、日本語の表記について知ります。 ・読み手を説得するための工夫を読み取ります。
	4 書き手のくふうを考えながら新聞の投書を読もう ・新聞の投書を読み比べよう ☆「わたしの意見」を書こう ☆漢文を読んでみよう ☆本は友達	・複数の意見の似ているところや違うところを聞き分けます。 ・平仮名と片仮名の由来と特色を理解し、日本語の表記について知ります。 ・読み手を説得するための工夫を読み取ります。 ・書く事柄を整理し、構成を考慮して、意見文を書きます。 ・漢文を音読し、言葉の響きやリズムを味わうとともに、内容の大体を知ります。 ・多くの本や文章を読むことの楽しさを知り、読書の範囲を広げます。
	○組み立て方(3つの部分) <湖> ○筆順・字形<成長> ○用紙に合わせて書こう	
	☆詩と短歌を味わおう ・いま始まる新しいいま ・短歌 ☆問題を解決するために話し合おう ☆資料を活用して書こう	・情景や心情を思いうかべながら、詩や短歌を声に出して読み味わいます。 ・自分の意見を的確に伝えて、ほかの人の意図を考えながら話し合います。 ・資料を効果的に使って文章を書きます。
後 期	5 人物の生き方を考えながら読もう ・海のいのち ☆子ども句会を開こう ☆言葉の由来に関心を持とう	・物語に出てくる人物の関係をおさえ、物語が自分に最も強く語りかけてきたことについて考えます。 ・表現を工夫して、俳句や短歌を作ります。 ・和語・漢語・外来語の由来を理解し、日本語についての関心を深めます。 ・資料の示し方や具体例の挙げ方に注意して、筆者の意見を読み取ります。
	6 「持続可能な社会」への取り組みについて調べよう ・未来に生かす自然のエネルギー	・資料を効果的に使って、分かりやすく説明します。 ・言葉は時代とともに変化したり、世代によって異なったりすることについて知ります。
	7 資料を使って説明しよう ・深めよう、言葉の世界 ☆言葉は変わる	

<p>8 戦争と人間の生き方をえがいた本を読み広げよう ・ヒロシマのうた</p>	<p>・一つの物語をきっかけにして、関連するテーマの本を読み広げます。</p>
<p>○字配り・筆使い<あこがれ> ○字配り・配列<世界平和> ○横書き ○字形・点画や文字と文字のつながり<俳句> ○書き初め<伝統を守る></p>	
<p>9 ふるさとの良さを文章で伝えよう ・ふるさとの良さをしょうかいしよう ☆伝えよう、大切にしたい名言 10 わたしたちの日本語について考えよう ・豊かな日本語の使い手になろう ・雨のいろいろ ・数え方でみがく日本語 11 未来に向かって ・君たちに伝えたいこと ・春に</p>	<p>・目的に応じて書く事柄を集め、形式を選んでまとめます。 ・しょうかいしたいものの良さが効果的に伝わるように、工夫して書きます。 ・目的に合わせて、自分の経験と考えを簡潔に書きます。 ・伝えたいことを明確にして、話の組み立てを工夫して話します。 ・筆者の意見と具体例の関係に注意して二つの文章を読み、経験したことや学習したことをもとに自分の考えを書きます。 ・文章と詩を読んで、自分の考えや思いを広げたり深めたりします。</p>
<p>○字配り<世界一周> ○まとめ<未来の夢> ○未来に向かって！</p>	